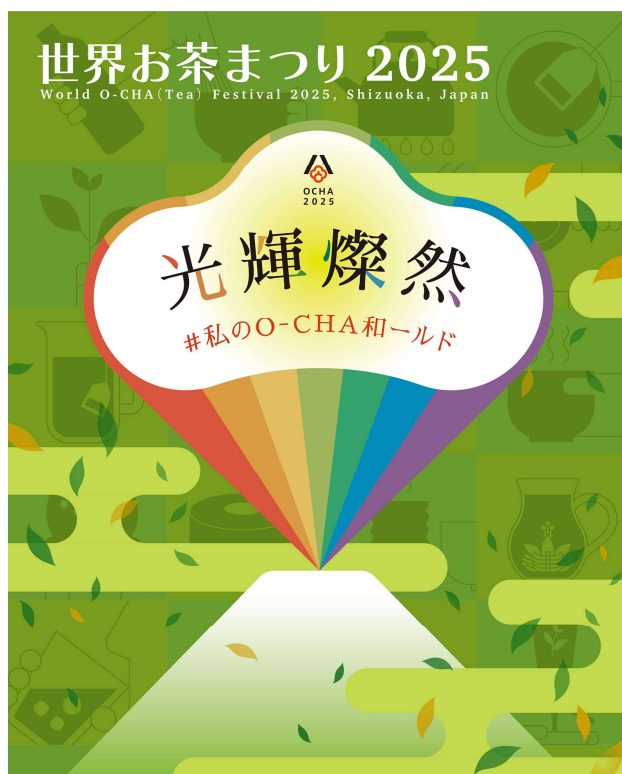


静岡県月例経済報告

(令和7年1月号)

……令和6年11月を中心とした県内経済のすがた……

No. 585



— 静岡県経済産業部 —

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	6
・需要面	6
・生産面	14
・雇用面	16
・その他	19
III 静岡県主要産業の動向	23
IV データからみた県内主要産業	26

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL)

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/keizaisangyo/tokeishiryoku/getsureihokoku/index.html>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和6年11月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概況

令和6年11月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに持ち直している。
先行きについては、全体としては持ち直しの動きが期待される。ただし、雇用・所得環境や海外経済、金利・為替の動向等に十分注意する必要がある。
雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる。

- ・ 個人消費は、持ち直している。
- ・ 設備投資は、製造業を中心に増加している。
- ・ 輸出は、減少している。
- ・ 生産は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。

（下線部は前月からの変更箇所）

需要面

「個人消費は、持ち直している」

大型小売店販売額(11月)は、スーパーが2か月ぶり、百貨店が3か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

専門量販店等販売額(11月)は、家電大型専門店、ホームセンターがいずれも2か月ぶり、コンビニエンスストアが2か月連続、ドラッグストアが43か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも35か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(11月)は、乗用車が2か月ぶり、軽自動車が4か月連続で前年実績を下回ったため、総数でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数(11月)は、持家、分譲住宅がいずれも2か月連続で前年実績を上回ったものの、貸家が2か月ぶりに前年実績を下回ったため、総数でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

「公共投資は、前年を下回った」

公共工事請負金額(11月)は、2か月ぶりに前年実績を下回った。

「設備投資は、製造業を中心に増加している」

日銀短観(12月調査)の令和6年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(11月)は、3か月ぶりに前年実績を下回った。

「輸出は、減少している」

「輸入は、前年を下回った」

輸出総額(11月)は、エアコンが6か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機が14か月連続、自動車、自動車の部分品がいずれも3か月連続、二輪自動車類が2か月連続、科学光学機器が4か月連続で前年実績を下回ったため、総額でも3か月連続で前年実績を下回った。

また、輸入総額(11月)は、魚介類及び同調製品が2か月連続、パルプが3か月連続で前年実績を上回ったものの、紙類及び同製品が8か月ぶり、原動機が3か月ぶり、木材が2か月連続、自動車の部分品が4か月連続で前年実績を下回ったため、総額でも2か月連続で前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、1,009億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、持ち直しの動きに足踏みがみられる」

鉱工業生産指数(11月)は、業種別にみると、化学が2か月ぶり、食料品・たばこが4か月ぶり、電気機械が3か月連続で前年水準を上回ったものの、パルプ・紙・紙加工品が2か月ぶり、はん用・生産用・業務用機械が2か月連続、輸送機械が4か月連続で前年水準を下回ったため、総合でも4か月連続で前年水準を下回った。なお、前月比は2か月ぶりに減少した。

鉱工業在庫指数は、総合では2か月ぶりに前年水準を下回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる」

有効求人倍率(11月)は1.10倍となり、前月を0.02ポイント下回った。46か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.15ポイント下回った。

雇用保険受給者実人員(11月)は、20か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数(10月)は、10か月ぶりに前年実績を下回った。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った」

県内金融機関の貸出残高(10月)は、前年同月比 0.4%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額(12月)は、前年同月比 45.8%減と前年実績を下回った。

「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を下回った」

企業倒産(12月)は、件数は17件(前年同月比 10.5%減)、負債総額は1,530百万円(同 25.8%減)と、いずれも前年実績を下回った。



Startup Forum in 浜松市

スタートアップのリアルを知る、繋がる

ふじのくに"SEAs" Startup Forum は地域のスタートアップや支援者が相互に交流し、静岡県のスタートアップ機運を高めることを目的としたイベントです。当日は、起業家による講演をはじめ、県内のスタートアップ関連事業の紹介やトークセッションなど、スタートアップのリアルを知ることができるコンテンツをご用意しております。ふじのくに"SEAs"会員の皆様や、スタートアップの皆様、ふじのくに"SEAs"参画にご興味のある企業・団体の皆様の参加をお待ちしています。

2025.2.13 木

ふじのくに"SEAs" Startup Forum in 浜松市

参加無料!

お申し込みは
こちらから



場所

ホテルオークラアクティシティ浜松
現地開催のみ / 浜松駅 徒歩5分

時間

16:00 ~ 19:15

プログラム

- 開会挨拶 (静岡県知事 鈴木康友)
- 県スタートアップ支援事業報告
- 浜松市活動紹介
- 基調講演
スタートアップの挑戦を支える
クリエイティブの力
- スタートアップトークセッション
静岡スタートアップの未来を語る
- 交流会

基調講演登壇者



The Breakthrough
Company GO
代表取締役 CEO

三浦崇宏 氏

2007年 博報堂入社、マーケティング・PR・クリエイティブを経験した後に、TBWA \HAKUHODOを経て2017年にThe Breakthrough Company GOを設立。クリエイティブの力で社会の変化と挑戦を支援することをミッションに掲げる。コンビニ大手からメガバンクといったナショナルクライアントのマーケティングから、スタートアップや自治体のプロジェクトまで幅広く手掛ける。Cannes Lions、PRアワードグランプリ、ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS グランプリ/総務大臣賞など受賞多数。著書『言語化力 (言葉にできれば人生は変わる)』(SBクリエイティブ)がAmazonのビジネス書ランキングで1位に。『超クリエイティブ 発想 × 実装で現実を動かす』(文藝春秋)ほか著書は5冊。THE CREATIVE ACADEMY主催。

トークセッション登壇者



鈴木康友
静岡県知事

モデレーター



西村真里子 氏
静岡県フェロー
(株式会社HEART CATCH 代表取締役)



杉浦直樹 氏
株式会社Wewill
代表取締役



東博暢 氏
静岡県フェロー
(株式会社日本総合研究所 プリンシパル)

主催



問い合わせ先

ふじのくに"SEAs"
運営事務局 阿部祐大
fujinokuni-seas@ship-shizuoka.jp



シーズ：SEAs (Startup Encourage Associations) とは、スタートアップ又はスタートアップ型の起業を目指す方の支援を目的として設立された、企業・団体、スタートアップ支援拠点、県内自治体、金融機関、大学等のスタートアップ支援に係る様々なプレイヤーを結ぶネットワークです。会員同士の情報交換等を通じて関係者間の連携を強め、県内における新たなスタートアップの創出・育成を加速し、県外からスタートアップを呼び込むことを目指します。

<トピックス>

世界お茶まつり 2025

World O-CHA (Tea) Festival 2025, Shizuoka, Japan



OCHA
2025

光輝燦然

#私のO-CHA和ールド

春の祭典 Spring Festival

2025 **4.19** (SAT) - **5.21** (WED)

静岡県全域及び首都圏、関西圏
Shizuoka prefecture
Tokyo metropolitan area
Kansai area

秋の祭典 Autumn Festival

2025 **10.23** (THU) - **10.26** (SUN)

静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」ほか
Shizuoka Convention & Arts Center GRANSHIP
Shizuoka City



公式HP



Instagram

主催
第9回 世界お茶まつり実行委員会

<トピックス>

いくぞ、万博。



GEO
KITCHEN
SHIZUOKA



大阪・関西万博 静岡県ブース

GEO KITCHEN SHIZUOKA

2025 **6.6** fri → **6.8** sun



WEBサイトにて
出展に向けた最新情報を発信中!



©Expo 2025

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

11月 = 38,829百万円

*前年同月比： 2.9%増

(県内3百貨店、161スーパー合計)

<概況>

11月の大型小売店販売額は38,829百万円で、前年同月比 2.9%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

業態別にみると、スーパー（前年同月比 2.9%増）が2か月ぶり、百貨店（同 2.7%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

商品別では、身の回り品（同 1.3%減）が2か月ぶり、衣料品（同 0.2%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、家庭用品（同 2.8%増）が2か月ぶり、飲食料品（同 3.0%増）が4か月連続で前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は3.6%増と、11か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R6年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
販売額(百万円)	36,018	37,407	38,043	39,061	39,920	36,839	37,543	38,829
前年同月比(%)	▲1.3	▲0.7	3.7	▲0.7	5.0	3.1	▲0.6	2.9
うち百貨店(%)	▲5.3	▲0.1	5.2	▲1.8	▲6.9	8.9	2.6	2.7
スーパー(%)	▲0.6	▲0.8	3.4	▲0.5	6.7	2.2	▲1.2	2.9
(参考1)全国前年同月比(%)	2.7	4.1	6.6	1.1	4.4	1.8	▲0.5	3.5
うち百貨店(%)	8.5	13.9	13.8	5.3	3.8	2.2	▲0.8	3.4
スーパー(%)	0.6	0.6	3.9	▲0.6	4.6	1.6	▲0.3	3.6
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	1.1	0.6	5.0	0.6	5.2	3.9	0.2	3.6

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R6年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
衣料品	▲6.1	▲5.5	2.3	▲9.7	▲6.2	7.7	▲11.0	▲0.2
うち紳士服・洋品	▲3.2	▲4.8	4.9	▲10.2	▲3.7	▲1.8	▲19.2	▲4.3
婦人・子供服・洋品	▲6.6	▲5.3	1.9	▲10.1	▲6.6	10.8	▲7.4	1.2
身の回り品	▲18.4	▲22.2	▲5.8	▲21.6	▲25.1	▲16.2	0.2	▲1.3
飲食料品	▲0.2	0.1	3.7	0.0	6.9	2.3	0.3	3.0
家庭用品	1.1	2.6	▲4.1	1.1	12.1	7.3	▲3.1	2.8
うち家庭用電気機械器具	3.6	6.1	▲5.5	8.6	17.2	13.6	▲2.9	4.2

(注)店舗数調整済、全月速報値

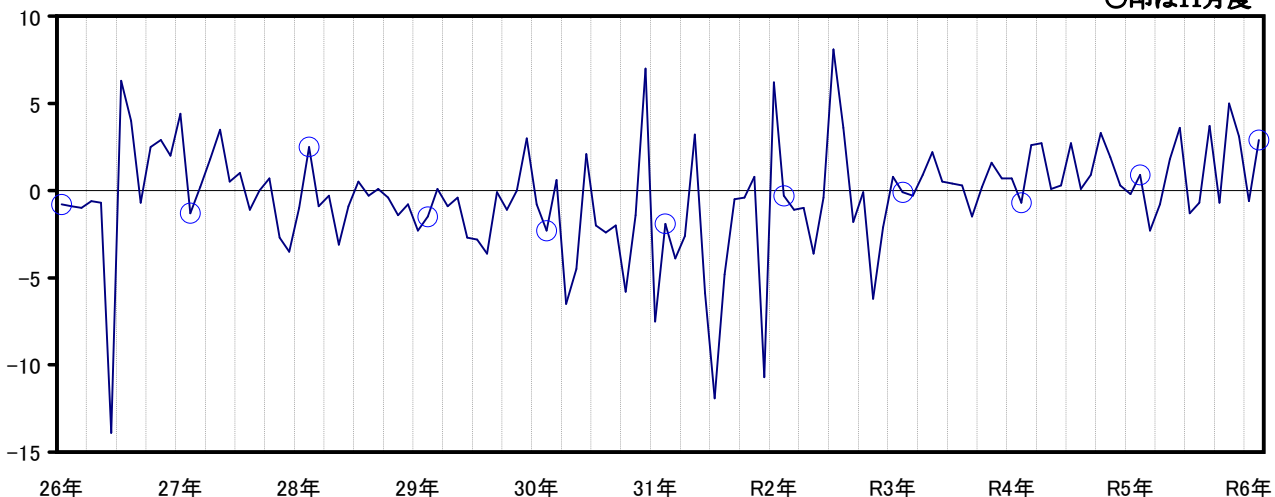
<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は11月度



(2) 専門量販店等販売額

11月 = 77,216百万円

*前年同月比：3.0%増

(県内93家電大型専門店、1,659コンビニエンスストア、620ドラッグストア、112ホームセンター合計)

<概況>

11月の専門量販店等販売額は77,216百万円で、前年同月比3.0%増となり、35か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店(前年同月比5.2%増)、ホームセンター(同0.9%増)がいずれも2か月ぶり、コンビニエンスストア(同1.8%増)が2か月連続、ドラッグストア(同4.1%増)が43か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R6年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
販売額(百万円)	75,755	77,410	78,430	85,399	84,904	77,100	77,382	77,216
前年同月比(%)	0.8	1.1	4.3	1.5	5.2	1.3	0.4	3.0
うち 家電大型専門店(%)	▲2.6	▲5.5	9.3	3.6	8.6	5.3	▲1.5	5.2
コンビニエンスストア(%)	▲0.7	0.3	0.9	0.2	0.8	▲0.5	1.0	1.8
ドラッグストア(%)	3.3	4.0	6.5	3.4	7.4	1.5	2.0	4.1
ホームセンター(%)	0.4	▲0.3	3.6	▲3.1	11.6	2.8	▲6.1	0.9
(参考)全国前年同月比(%)	2.5	2.8	5.0	1.7	3.8	1.7	1.4	3.5

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

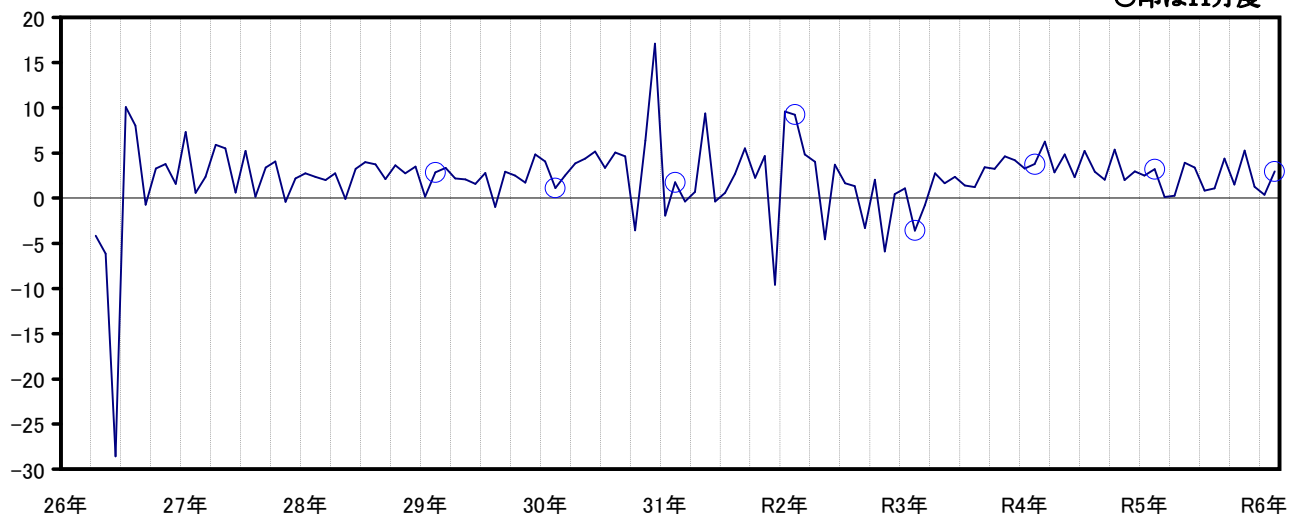
(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は11月度



(3) 自動車(新車)新規登録台数

11月 = 13,461 台

*前年同月比： 4.0%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

11月の自動車(新車)新規登録台数は13,461台で、2か月ぶりに前年実績を下回った。
車種別にみると、乗用車(前年同月比 0.1%減)が2か月ぶり、軽自動車(同 8.4%減)が4か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R6年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
登録台数(台)	10,544	10,295	12,435	13,289	10,981	14,498	13,935	13,461
前年同月比(%)	▲ 11.5	▲ 8.8	▲ 4.4	9.7	▲ 1.3	▲ 1.5	2.7	▲ 4.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 10.6	▲ 3.9	▲ 6.1	5.5	▲ 3.2	0.8	1.0	▲ 3.9

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

	R6年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
全乗用車	▲ 11.5	▲ 8.8	▲ 4.4	9.7	▲ 1.3	▲ 1.5	2.7	▲ 4.0
乗用車	▲ 1.5	▲ 4.3	▲ 2.7	4.3	1.6	▲ 1.9	11.9	▲ 0.1
軽自動車	▲ 22.5	▲ 13.9	▲ 6.3	17.2	▲ 4.4	▲ 1.0	▲ 6.5	▲ 8.4

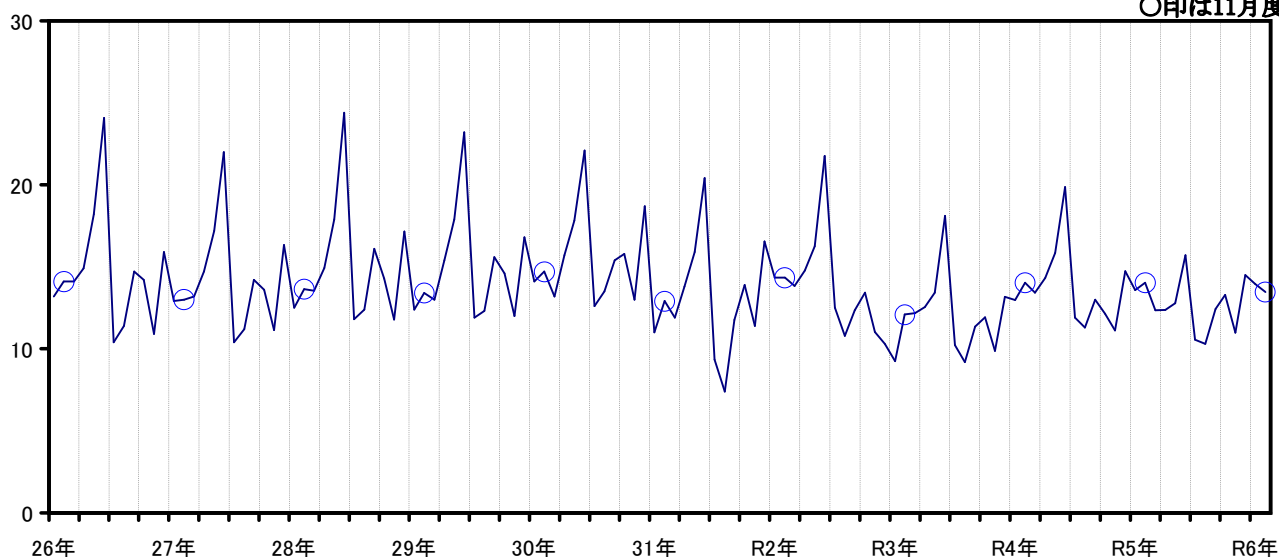
<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課

○印は11月度



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

11月 = 1,396 戸

*前年同月比： 3.9%減

<概況>

11月の新設住宅着工戸数は1,396戸で、前年同月比 3.9%減と、2か月ぶりに前年実績を下回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 3.3%増）、分譲住宅（同 28.7%増）がいずれも2か月連続で前年実績を上回ったものの、貸家（同 34.6%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R6年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
戸数（戸）	1,750	2,078	1,409	1,638	1,656	1,359	2,046	1,396
前年同月比（%）	2.2	24.3	▲ 13.1	▲ 4.3	▲ 18.3	▲ 13.7	44.9	▲ 3.9
うち持家（%）	▲ 0.4	2.5	▲ 2.2	▲ 6.1	▲ 8.0	▲ 4.1	6.7	3.3
貸家（%）	64.1	▲ 9.2	▲ 24.2	34.7	▲ 31.7	▲ 22.4	60.3	▲ 34.6
分譲住宅（%）	▲ 44.5	115.5	▲ 19.5	▲ 50.9	▲ 10.6	▲ 26.3	20.2	28.7
(参考)全国前年同月比（%）	13.9	▲ 5.3	▲ 6.7	▲ 0.2	▲ 5.1	▲ 0.6	▲ 2.9	▲ 1.8

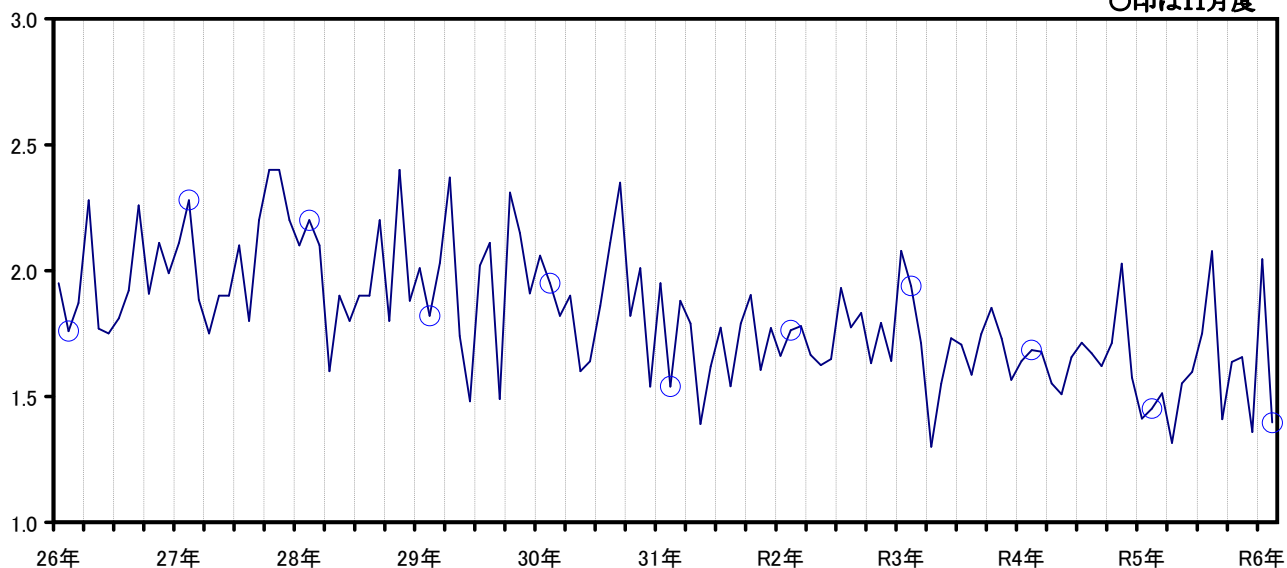
<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課

○印は11月度



3 公共工事請負金額

11月 = 18,118百万円

*前年同月比： 1.7%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

11月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は18,118百万円で、前年同月比 1.7%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は509件で、前年同月比 17.4%減となり、4か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R6年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
金額（百万円）	52,491	48,004	37,109	35,109	28,030	32,375	21,867	18,118
前年同月比（%）	▲ 3.7	18.1	3.7	29.2	7.0	▲ 4.2	7.3	▲ 1.7
年度累計前年同月比（%）	▲ 3.7	5.6	5.1	9.2	8.9	6.9	6.9	6.3
件数（件）	551	670	768	761	723	907	707	509
前年同月比（%）	10.2	9.5	▲ 9.0	0.1	▲ 4.2	▲ 2.3	▲ 2.3	▲ 17.4
年度累計前年同月比（%）	10.2	9.8	1.7	1.3	0.1	▲ 0.4	▲ 0.7	▲ 2.5

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

	R6年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
国	▲ 39.9	11.6	15.5	420.0	36.9	▲ 17.4	▲ 45.9	53.5
独立行政法人等	▲ 78.3	▲ 16.8	14.9	6.2	▲ 16.9	▲ 65.1	423.3	282.6
県	50.0	17.9	▲ 20.3	2.4	▲ 2.8	▲ 5.6	3.4	▲ 33.2
市町	23.3	53.9	15.4	19.2	2.5	6.5	15.7	▲ 8.6
地方公社	-	-	242.4	457.0	110.5	-	-	▲ 20.9
その他	▲ 38.0	▲ 59.0	▲ 21.8	683.9	104.9	▲ 9.8	53.4	93.6

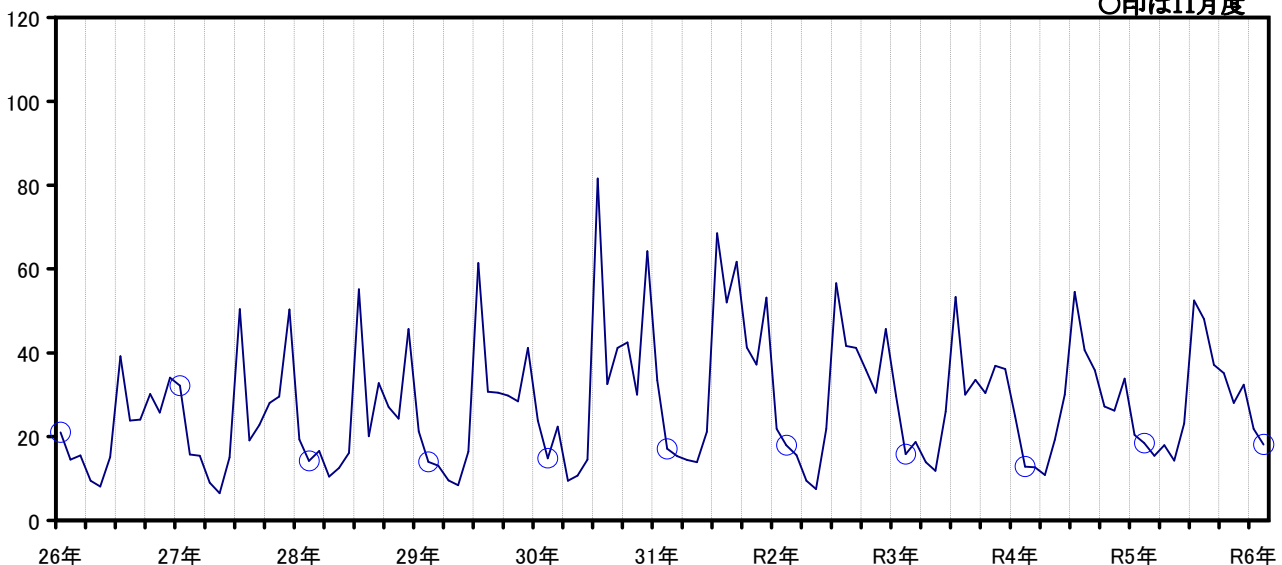
<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

○印は11月度



4 設備投資

<概況>

令和5年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加した。

令和6年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 29.3%増）、非製造業（同 2.1%増）、全産業（同 16.5%増）においていずれも増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 17.0%増）、非製造業（同 2.1%増）、全産業（同 13.4%増）においていずれも増加する計画となっている。

11月の着工建築物床面積（非居住用）は62,220㎡で、前年同月比 75.7%減となり、3か月に前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比%（ ）内は前回調査比修正率）

設備投資（含む土地投資）

		R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
全産業	県	7.1	(▲1.6) 16.5
	全国	10.6	(0.8) 9.7
製造業	県	5.4	(▲3.1) 29.3
	全国	6.7	(▲1.6) 15.1
非製造業	県	9.0	(0.7) 2.1
	全国	12.8	(2.2) 6.7

ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
全産業	県	8.1	(▲1.6) 13.4
	全国	9.4	(▲0.1) 10.0
製造業	県	8.2	(▲2.0) 17.0
	全国	6.5	(▲0.7) 12.1
非製造業	県	7.9	(0.0) 2.1
	全国	12.7	(0.7) 7.8

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和6年12月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和6年12月調査)」

<最近の動き>

	R6年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	92,388	142,074	155,246	61,293	67,266	88,251	128,072	62,220
前年同月比（%）	18.4	5.7	11.7	▲41.7	▲19.8	67.9	18.0	▲75.7
（参考）全国前年同月比（%）	▲15.8	▲11.8	7.8	▲8.8	▲13.4	▲3.8	▲27.3	▲0.6

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

		R6年9月	R6年12月	R7年3月 (予測)
全産業		11	10	2
	製造業	▲2	1	▲9
	非製造業	21	19	12
（参考）全国・全産業		14	15	10

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和6年12月調査)」

5 輸出

11月 = 205,686百万円

*前年同月比： 13.6%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

11月の清水税関支署管内の輸出総額は205,686百万円で、前年同月比 13.6%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、エアコン（前年同月比 42.5%増）が6か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機（同 30.8%減）が14か月連続、自動車（同 37.2%減）、自動車の部分品（同 28.8%減）がいずれも3か月連続、二輪自動車類（同 27.3%減）が2か月連続、科学光学機器（同 25.0%減）が4か月連続で前年実績を下回った。

地域別にみると、アジア向け（同 1.5%減）が2か月連続、米国向け（同 7.5%減）が8か月連続、EU向け（同 47.5%減）が9か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R6年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
輸出総額(百万円)	225,721	194,641	226,638	245,526	206,954	217,157	212,513	205,686
前年同月比(%)	0.4	1.4	1.1	4.8	3.9	▲ 5.9	▲ 15.0	▲ 13.6
(参考)全国前年同月比(%)	8.3	13.5	5.4	10.3	5.6	▲ 1.7	3.1	3.8

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R6年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
原動機	▲ 37.0	▲ 24.0	▲ 33.0	▲ 22.0	▲ 28.2	▲ 17.5	▲ 14.0	▲ 30.8
エアコン	▲ 59.9	▲ 31.2	8.9	1.2	21.4	35.0	34.7	42.5
自動車	46.8	25.4	14.9	2.8	14.1	▲ 8.6	▲ 27.8	▲ 37.2
自動車の部分品	18.8	10.4	17.1	13.0	4.1	▲ 13.1	▲ 28.4	▲ 28.8
二輪自動車類	6.9	4.7	▲ 9.1	18.0	23.2	1.7	▲ 23.6	▲ 27.3
科学光学機器	23.3	8.8	25.9	27.7	▲ 10.0	▲ 30.9	▲ 46.7	▲ 25.0

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R6年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
アジア	13.0	17.0	6.6	17.3	10.5	3.6	▲ 5.8	▲ 1.5
米国	▲ 16.9	▲ 6.1	▲ 4.9	▲ 5.8	▲ 1.3	▲ 8.2	▲ 17.2	▲ 7.5
EU	▲ 2.8	▲ 8.2	▲ 9.4	▲ 11.6	▲ 10.5	▲ 24.3	▲ 45.0	▲ 47.5

<資料>清水税関支署

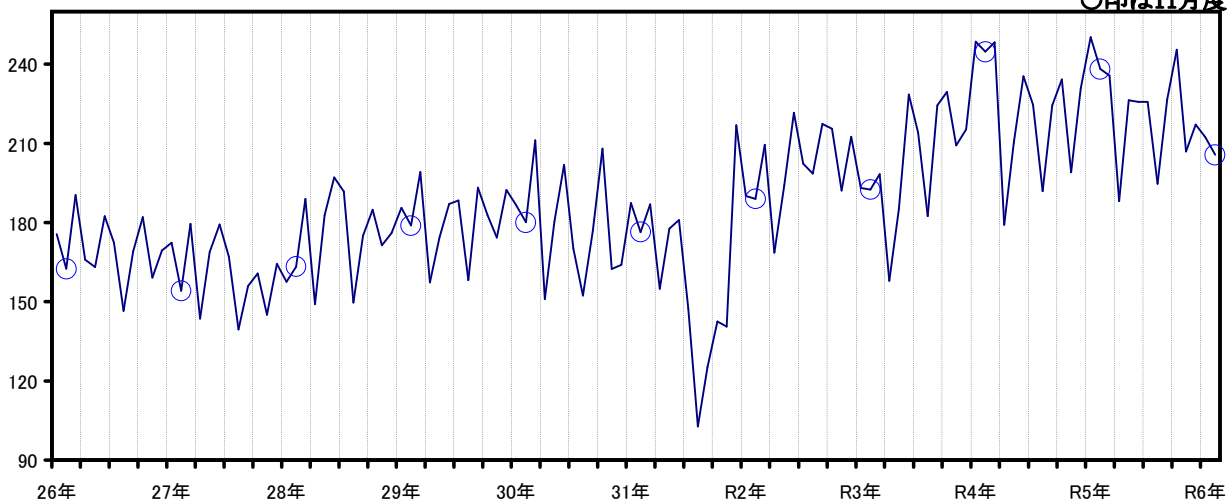
(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は11月度



6 輸入

11月 = 104,819百万円

*前年同月比： 14.6%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

11月の清水税関支署管内の輸入総額は104,819百万円で、前年同月比 14.6%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、魚介類及び同調製品（前年同月比 35.2%増）が2か月連続、パルプ（同 20.0%増）が3か月連続で前年実績を上回ったものの、紙類及び同製品（同 4.3%減）が8か月ぶり、原動機（同 2.0%減）が3か月ぶり、木材（同 28.8%減）が2か月連続、自動車の部分品（同 22.3%減）が4か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、EUから（同 20.9%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、アジアから（同 20.3%減）、米国から（同 38.2%減）がいずれも2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R6年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
輸入総額(百万円)	121,307	130,649	111,351	124,813	112,259	116,230	113,354	104,819
前年同月比(%)	▲1.5	6.9	▲10.4	12.0	4.9	1.9	▲3.1	▲14.6
(参考)全国前年同月比(%)	8.3	9.5	3.2	16.6	2.3	2.1	0.4	▲3.8

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R6年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
魚介類及び同調製品	▲47.8	11.3	▲2.0	37.5	5.4	▲21.1	25.6	35.2
木材	▲17.4	▲6.0	▲19.1	24.6	▲23.0	39.4	▲12.3	▲28.8
パルプ	20.3	▲22.8	▲4.2	95.3	▲21.1	16.5	39.7	20.0
紙類及び同製品	60.1	22.0	12.0	22.5	10.7	23.3	13.7	▲4.3
原動機	42.9	67.0	30.9	106.5	▲3.2	3.2	35.6	▲2.0
自動車の部分品	66.8	49.2	4.7	4.2	▲10.0	▲17.9	▲21.4	▲22.3

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R6年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
アジア	17.9	12.5	▲5.2	5.6	▲5.9	13.8	▲1.8	▲20.3
米国	11.3	▲20.0	▲6.9	▲31.5	23.0	26.4	▲30.4	▲38.2
EU	▲43.5	26.3	▲4.1	16.4	24.9	71.7	▲9.9	20.9

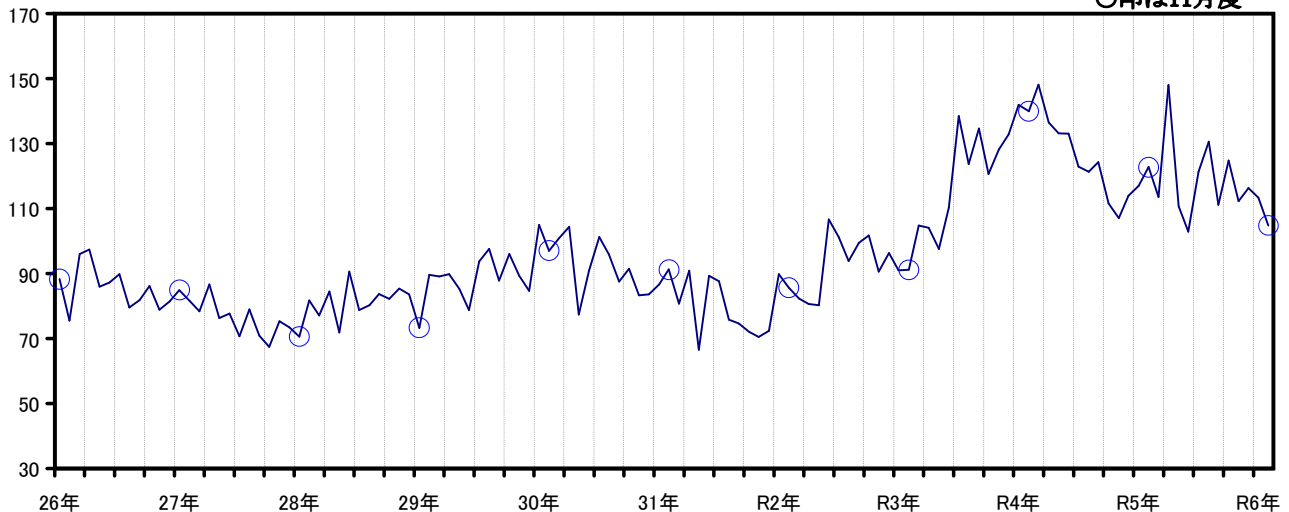
<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は11月度



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

11月 = 96.1

(令和2年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 0.3%減

*前年同月比(原指数) : 3.6%減

<概況>

11月の鉱工業生産指数(総合)は96.1(季節調整済指数)で、前月比は0.3%減と、2か月ぶりに減少した。また、前年同月比(原指数)は3.6%減と、4か月連続で前年水準を下回った。業種別にみると、化学(前年同月比14.2%増)が2か月ぶり、食料品・たばこ(同1.2%増)が4か月ぶり、電気機械(同5.7%増)が3か月連続で前年水準を上回ったものの、パルプ・紙・紙加工品(同0.2%減)が2か月ぶり、はん用・生産用・業務用機械(同19.1%減)が2か月連続、輸送機械(同12.7%減)が4か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R6年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
指数	96.3	103.3	96.1	98.9	95.8	95.1	96.4	96.1
前月比(%)	2.1	7.3	▲7.0	2.9	▲3.1	▲0.7	1.4	▲0.3
前年同月比(%)	▲1.3	4.8	▲9.0	2.8	▲3.5	▲3.3	▲3.2	▲3.6
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.8	1.1	▲7.9	2.9	▲4.9	▲2.6	1.4	▲2.7

(注)令和2年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R6年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
はん用・生産用・業務用機械工業	2.2	▲11.0	▲13.0	▲5.5	▲15.0	0.1	▲4.7	▲19.1
電気機械工業	▲14.2	▲8.1	▲19.1	9.2	▲3.7	18.8	10.6	5.7
輸送機械工業	6.7	12.7	▲3.7	6.1	▲11.7	▲15.1	▲9.5	▲12.7
化学工業	8.7	21.5	▲11.9	▲6.0	15.9	3.2	▲9.6	14.2
パルプ・紙・紙加工品工業	0.2	2.9	3.2	4.1	2.3	▲0.1	2.7	▲0.2
食料品・たばこ工業	▲4.4	5.4	▲8.9	1.1	▲0.7	▲4.3	▲1.1	1.2

(注)令和2年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

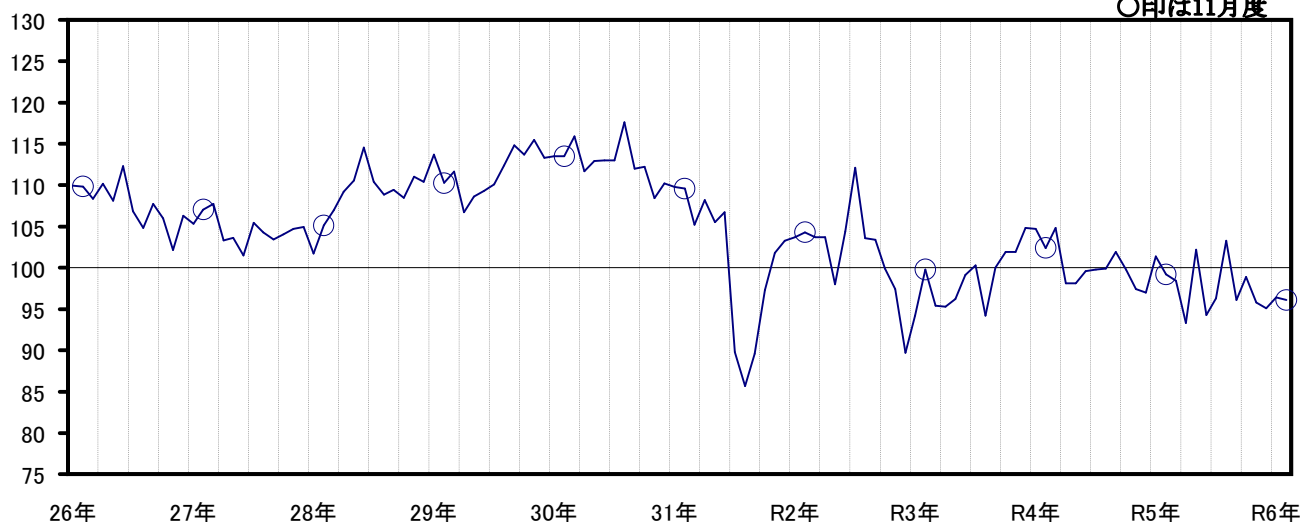
<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、令和2年=100)

<資料>県統計調査課

○印は11月度



(2) 鋳工業在庫指数

11月 = 105.2

(令和2年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 0.8%増

*前年同月比(原指数) : 0.1%減

<概況>

11月の鋳工業在庫指数(総合)は105.2(季節調整済指数)で、前月比は0.8%増と、2か月連続で増加した。また、前年同月比(原指数)は0.1%減と、2か月ぶりに前年水準を下回った。
 なお、在庫動向を在庫循環図で見ると、今期は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。
 業種別にみると、化学(前年同月比6.4%増)が3か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同6.3%増)が6か月連続、食料品・たばこ(同6.5%増)が5か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同0.3%減)が3か月ぶり、電気機械(同10.7%減)が15か月連続、輸送機械(同4.8%減)が3か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R6年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
指数	106.2	106.8	104.7	104.2	107.6	102.7	104.4	105.2
前月比(%)	0.4	0.6	▲2.0	▲0.5	3.3	▲4.6	1.7	0.8
前年同月比(%)	0.5	▲0.6	▲2.6	1.2	2.2	▲1.5	0.4	▲0.1
(参考)全国前年同月比(%)	▲2.4	▲2.1	▲2.7	▲2.5	▲2.2	▲1.3	▲1.3	▲2.2

(注)令和2年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R6年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
はん用・生産用・業務用機械工業	3.5	1.5	▲0.3	▲1.3	▲0.9	5.6	1.2	▲0.3
電気機械工業	▲7.7	▲10.6	▲19.0	▲19.2	▲17.3	▲8.9	▲7.1	▲10.7
輸送機械工業	2.6	13.5	3.3	26.8	15.1	▲18.9	▲3.0	▲4.8
化学工業	▲1.9	▲4.8	▲6.6	▲4.1	1.2	▲3.1	▲0.6	6.4
パルプ・紙・紙加工品工業	▲1.8	▲1.9	3.4	1.0	2.7	7.1	6.2	6.3
食料品・たばこ工業	▲1.0	▲5.9	▲2.3	3.1	8.0	13.1	10.1	6.5

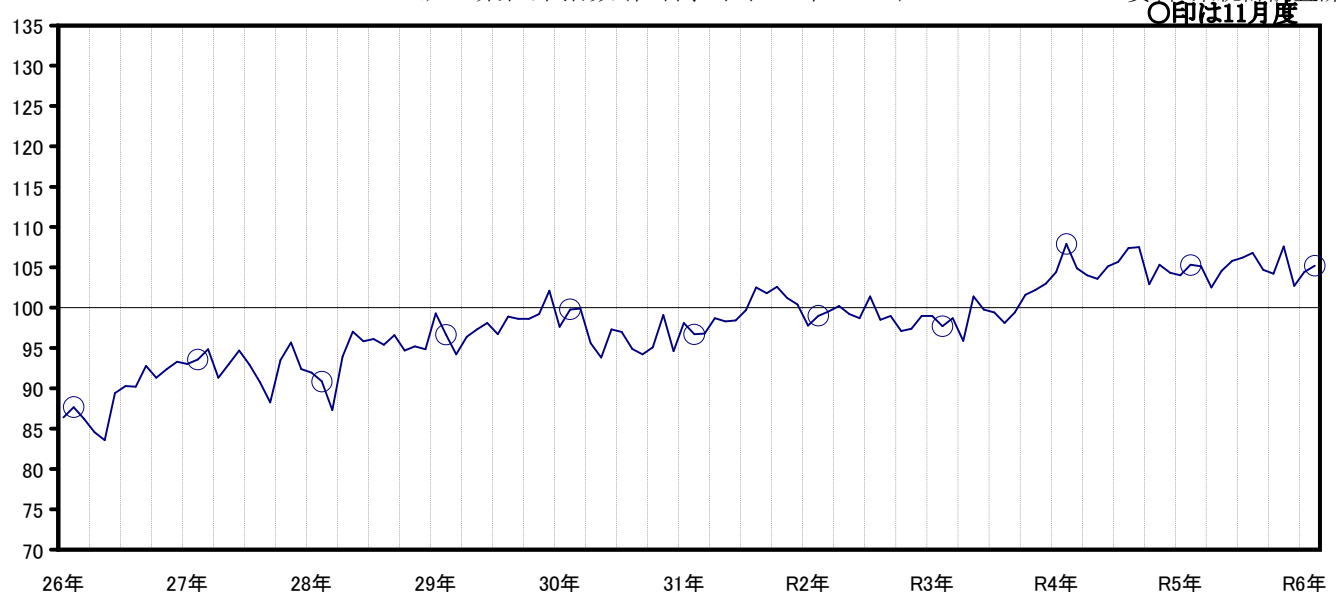
(注)令和2年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、令和2年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

11月 = 1.10倍

*前月比(季節調整値) : 0.02ポイント減

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

<概況>

11月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.10倍となり、前月を0.02ポイント下回った。46か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.15ポイント下回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比0.2%増)は3か月ぶりに前年実績を上回った。

産業別にみると、建設業(前年同月比9.5%減)、製造業(同10.1%減)、サービス業(他に分類されないもの)(同9.9%減)がいずれも2か月ぶり、運輸業・郵便業(同13.5%減)が3か月ぶり、医療・福祉(同3.9%減)が2か月連続で前年実績を下回ったものの、卸売業・小売業(同45.5%増)が3か月ぶり、情報通信業(同0.6%増)が14か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

(単位:倍)

	R6年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
県	1.15	1.11	1.09	1.09	1.12	1.12	1.12	1.10
全 国	1.26	1.24	1.23	1.24	1.23	1.24	1.25	1.25

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	R6年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
建設業	▲2.6	0.5	▲11.8	4.8	▲7.6	▲14.4	13.7	▲9.5
製造業	▲11.3	▲13.9	▲13.5	5.5	▲12.1	▲18.3	12.7	▲10.1
情報通信業	24.7	37.4	44.0	16.6	50.8	15.0	13.7	0.6
運輸業・郵便業	▲16.7	▲7.4	4.0	▲9.2	▲1.1	12.2	7.7	▲13.5
卸売業・小売業	▲10.3	▲6.4	▲56.5	▲4.1	62.6	▲42.6	▲27.9	45.5
医療・福祉	▲7.7	▲2.6	▲0.7	▲5.7	3.6	3.9	▲5.1	▲3.9
サービス業(他に分類されないもの)	▲9.3	▲2.1	▲17.7	2.7	▲12.9	▲14.9	3.3	▲9.9
合 計	▲5.7	▲3.9	▲16.0	0.6	4.1	▲12.5	▲0.5	0.2

(注)学卒、パートタイムを除く

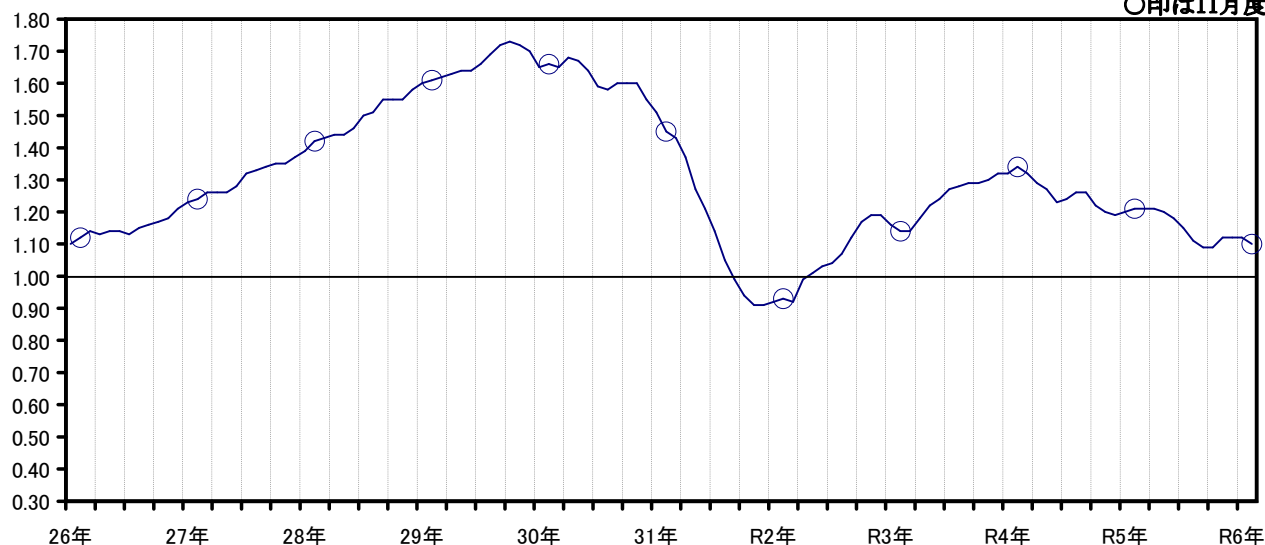
<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省

○印は11月度



(2) 雇用保険受給者実人員

11月 = 12,297人

*前月比: 6.5%減

*前年同月比: 2.4%増

<概況>

11月の雇用保険受給者実人員は12,297人で、前月比は6.5%減と、4か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は2.4%増と20か月連続で前年実績を上回った。

完全失業率(全国)は2.5%と前月と同水準であった。

静岡県(令和6年7~9月)の完全失業率は2.1%で、前期(令和6年4~6月)から0.4ポイント改善した。

<最近の動き>

	R6年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
実人員(人)	11,190	12,153	12,470	13,862	13,588	13,188	13,146	12,297
前月比(%)	5.6	8.6	2.6	11.2	▲2.0	▲2.9	▲0.3	▲6.5
前年同月比(%)	11.5	12.2	3.3	9.1	1.9	3.8	2.6	2.4
(参考)全国前年同月比(%)	6.6	4.3	▲1.2	4.6	▲2.7	1.3	▲0.5	▲2.7

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R6年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
完全失業率(全国)(%)	2.6	2.6	2.5	2.7	2.5	2.4	2.5	2.5

(注)季節調整値

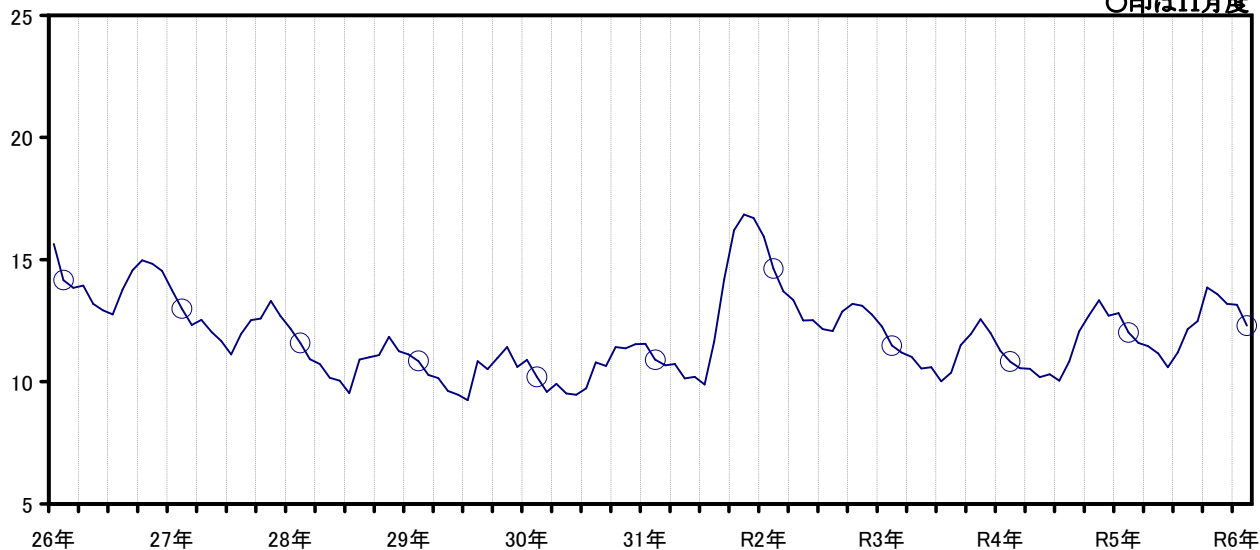
<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省

○印は11月度



(3) 所定外労働時間指数

10月 = 119.1

*前月比(季節調整済指数): 5.4%減

(令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 1.5%減

<概況>

10月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は119.1(季節調整済指数)で、2か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比(原指数)は1.5%減と、10か月ぶりに前年実績を下回った。

業種別にみると、その他のサービス業(前年同月比 26.8%増)が10か月連続で前年実績を上回ったものの、建設業(同 11.7%減)が2か月ぶり、製造業(同 3.1%減)、卸売業・小売業(同 8.0%減)がいずれも2か月連続、情報通信業(同 31.7%減)が3か月連続、運輸業・郵便業(同 18.5%減)が10か月連続、医療・福祉(同 15.5%減)が12か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R6年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
指数	116.2	127.4	133.3	128.3	124.5	120.6	125.9	119.1
前月比(%)	▲1.1	9.6	4.6	▲3.8	▲3.0	▲3.1	4.4	▲5.4
前年同月比(%)	1.6	8.7	13.0	4.8	5.9	4.4	4.8	▲1.5
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.6	▲3.2	▲1.7	▲2.5	▲0.8	▲2.7	▲4.1	▲2.3

*令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数 <資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R6年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
建設業	▲12.7	▲16.0	▲11.8	▲11.9	▲15.6	▲17.5	31.4	▲11.7
製造業	▲4.8	▲4.0	2.2	▲2.7	2.8	2.1	▲1.3	▲3.1
情報通信業	▲37.2	▲14.7	▲40.1	▲54.0	16.6	▲26.2	▲60.8	▲31.7
運輸業・郵便業	▲16.4	▲18.0	▲9.1	▲19.1	▲26.1	▲15.6	▲16.5	▲18.5
卸売業・小売業	▲3.0	▲9.9	0.0	4.9	4.5	0.0	▲6.0	▲8.0
医療・福祉	▲1.4	▲4.3	▲11.6	▲26.6	▲15.9	▲14.8	▲20.4	▲15.5
その他のサービス業	24.8	9.7	30.7	31.8	27.1	32.7	18.5	26.8
調査産業計	1.6	8.7	13.0	4.8	5.9	4.4	4.8	▲1.5

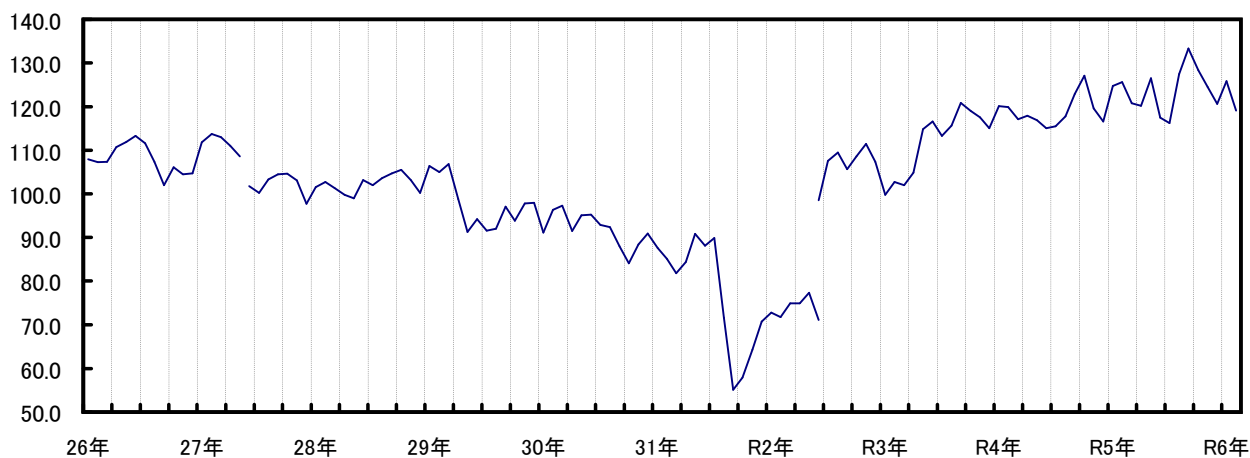
*令和2年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、令和2年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

12月 = 124.8

*前月比: 0.3%上昇

(令和2年=100)

*前年同月比: 3.8%上昇

<概況>

12月の国内企業物価指数は124.8となり、前月比は0.3%の上昇となった。また、前年同月比は3.8%の上昇となった。

	R 6年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
国内企業物価指数	122.4	122.7	123.4	123.1	123.5	124.0	124.4	124.8
前月比 (%)	0.7	0.2	0.6	▲ 0.2	0.3	0.4	0.3	0.3
前年同月比 (%)	2.3	2.6	3.1	2.6	3.1	3.7	3.8	3.8

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

10月 = 142,622億円

*前月比: 0.6%減

(銀行、信用金庫)

*前年同月比: 0.4%増

<概況>

10月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は142,622億円で、前月比とは0.6%の減少となった。また、前年同月比は0.4%の増加となった。

	3月	R 6年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
貸出残高(億円)	143,735	142,010	142,324	142,969	142,553	142,956	143,445	142,622
前月比 (%)	0.9	▲ 1.2	0.2	0.5	▲ 0.3	0.3	0.3	▲ 0.6
前年同月比 (%)	▲ 0.5	▲ 1.1	▲ 0.4	0.2	0.2	0.7	0.4	0.4

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

10月 = 1.321%

*前月差: 0.018ポイント増

(県内地銀4行総平均)

*前年同月差: 0.056ポイント増

<概況>

10月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.321%で、前月から0.018ポイントのプラスとなった。なお、前年同月差は0.056ポイントのプラスとなった。

	R 6年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
貸出約定金利 (%)	1.256	1.262	1.272	1.266	1.268	1.279	1.303	1.321
前月差(ポイント)	0.003	0.006	0.010	▲ 0.006	0.002	0.011	0.024	0.018
前年同月差(ポイント)	▲ 0.036	▲ 0.029	▲ 0.014	▲ 0.013	▲ 0.004	0.010	0.037	0.056

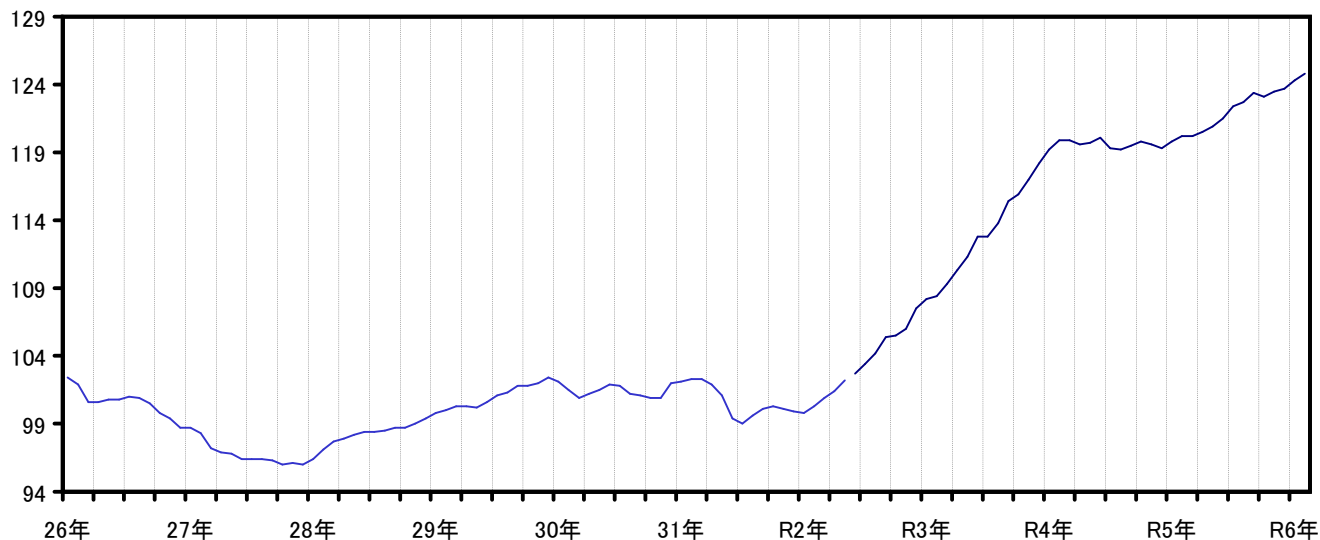
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

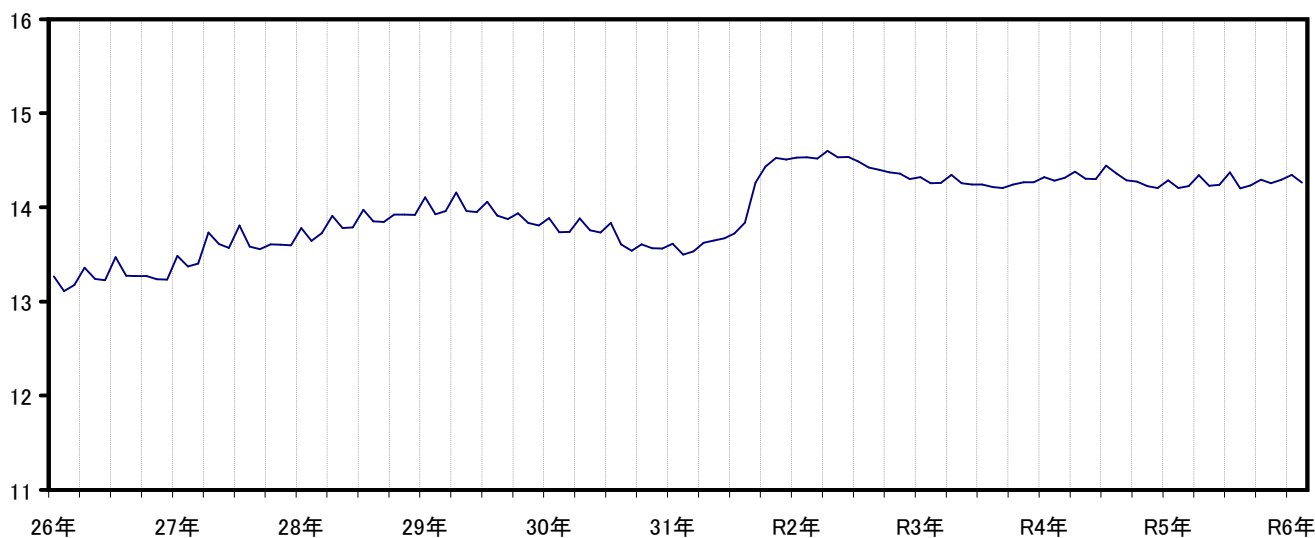
国内企業物価指数(令和2年=100)

<資料>日本銀行



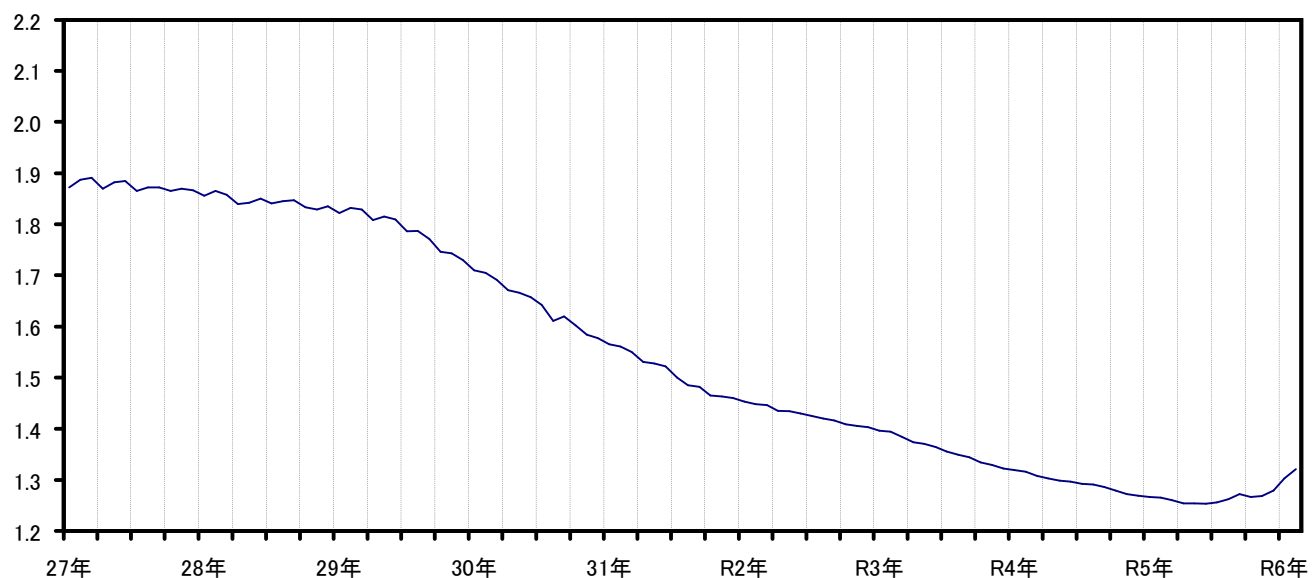
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**12月 = 17,220百万円**

*前年同月比： 45.8%減

<概況>

12月の保証承諾は、金額は17,220百万円（前年同月比 45.8%減）、件数は1,444件（同 35.5%減）と、いずれも前年実績を下回った。

	R 6年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
保証金額（百万円）	21,666	30,317	22,931	14,037	14,144	12,710	14,589	17,220
前年同月比（%）	▲ 5.2	6.8	▲ 9.6	▲ 47.3	▲ 40.5	▲ 42.5	▲ 43.0	▲ 45.8
保証件数（件）	1,711	2,159	1,803	1,387	1,481	1,296	1,373	1,444
前年同月比（%）	4.5	4.5	4.2	▲ 29.6	▲ 20.4	▲ 22.4	▲ 22.1	▲ 35.5

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**12月 = 153.72円/ドル**

*前月差： 0.00円安

(東京・銀行間直物中心・平均)

*前年同月差： 9.65円安

<概況>

12月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は153.72円で、前月と同水準となった。

<最近の動き>

	R 6年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均相場（円）	156.13	157.82	158.06	146.23	143.38	149.63	153.72	153.72
前月差（円）	2.70	1.69	0.24	▲ 11.83	▲ 2.85	6.25	4.09	0.00
前年同月差（円）	18.76	16.63	16.85	1.46	▲ 4.29	0.10	3.89	9.65

▲…円高

(注)東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****12月 = 17件**

*前年同月比： 10.5%減

<概況>

12月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は17件（前年同月比 10.5%減）、負債総額は1,530百万円（同 25.8%減）と、いずれも前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が15件と全体の88.2%を占め、29か月連続で50%以上となっている。

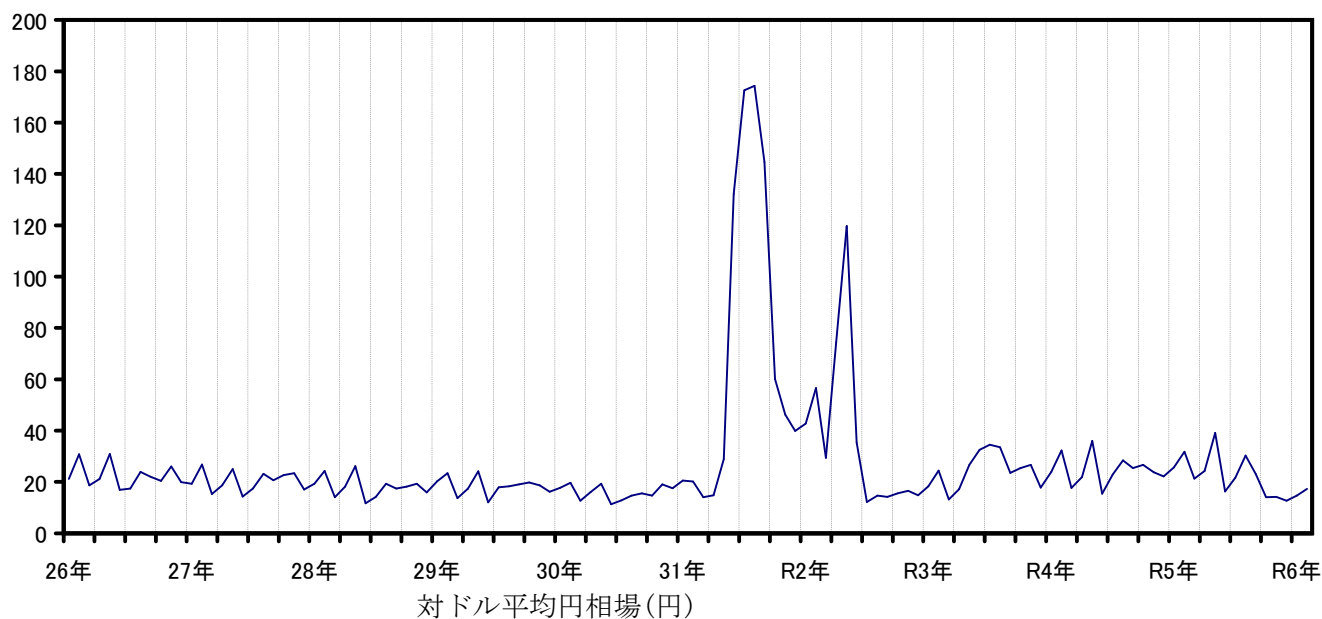
	R 6年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
倒産件数（件）	22	13	26	12	21	29	13	17
前年同月比（%）	29.4	▲ 13.3	8.3	▲ 20.0	▲ 32.2	70.5	▲ 31.5	▲ 10.5
うち不況型倒産件数(件)	19	10	21	10	21	22	12	15
負債総額（百万円）	10,415	1,340	8,443	2,029	2,843	4,255	1,354	1,530
前年同月比（%）	200.1	▲ 17.7	▲ 57.1	▲ 9.7	70.6	▲ 35.4	▲ 53.0	▲ 25.8

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社

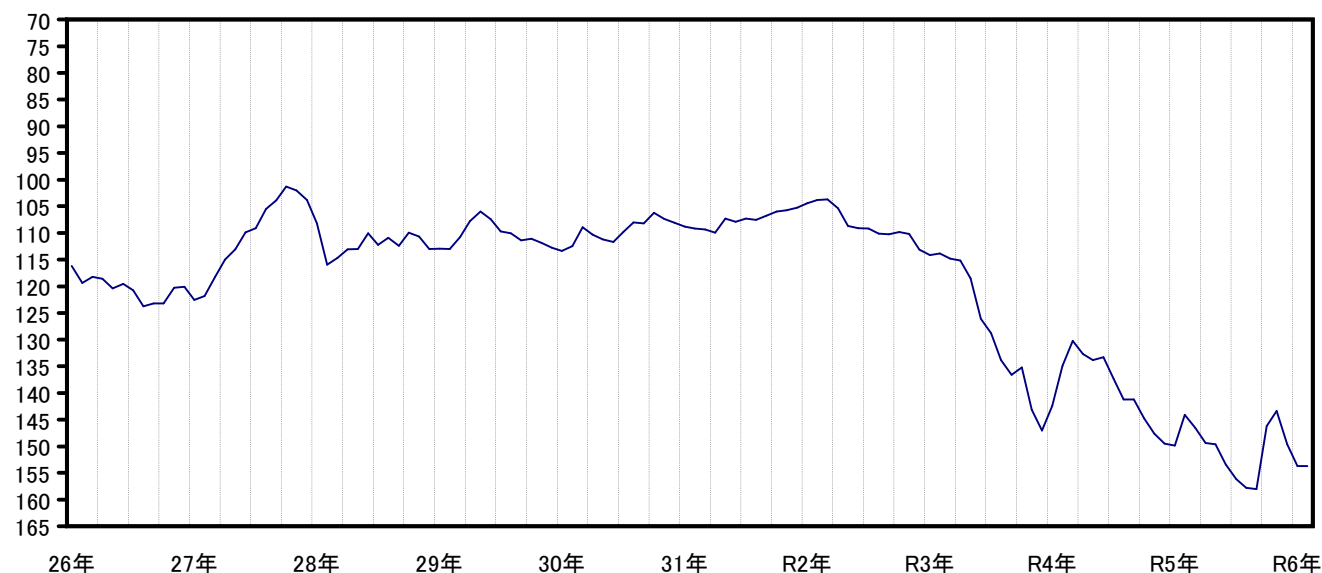
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会

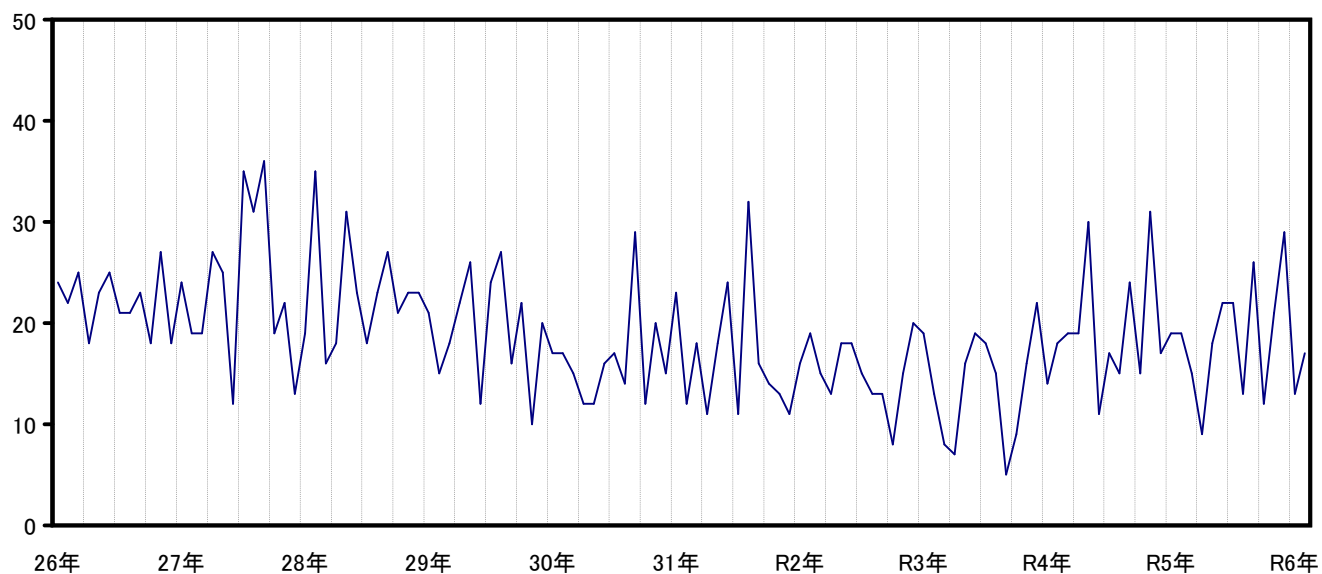


対ドル平均円相場(円)



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和6年11月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>10月の国内二輪車生産台数は、64,520台（前年同月比 1.6%増）で、6か月ぶりに前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は、9,544台（同 37.1%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、4,840台（同 0.4%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、6,195台（同 8.8%増）で3か月連続で前年実績を上回った。小型二輪車（251cc以上）は、43,941台（同 4.5%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、30,955台（同 7.2%減）で、10か月連続で前年実績を下回った。輸出向けは、45,728台（同 4.2%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>10月の自動車国内生産台数は、816,836台（前年同月比 0.2%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。輸出は389,783台（同 3.5%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、トラックが3か月連続、乗用車が3か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>11月の冷蔵庫の国内出荷額は299億円（前年同月比 7.4%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回り、国内出荷台数も234千台（同 3.9%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>11月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは524千台（同 8.1%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。業務用は68千台（同 2.2%減）で、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>11月の携帯電話の国内出荷台数は、587千台（同 25.3%増）で、4か月ぶりに前年実績を上回った。うち、スマートフォンは、492千台（同 49.2%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。単月のスマートフォン比率は83.9%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>11月の工作機械の受注総額は、1,193億2,700万円（前年同月比 3.0%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は849億9,900万円（同 2.2%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが424億4,500万円（同 26.0%増）で、8か月連続で前年実績を上回った。内需は343億2,800万円（同 5.0%増）で、27か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>県内関連団体からは、「一部回復傾向にあるが全体的にはまだまだである。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

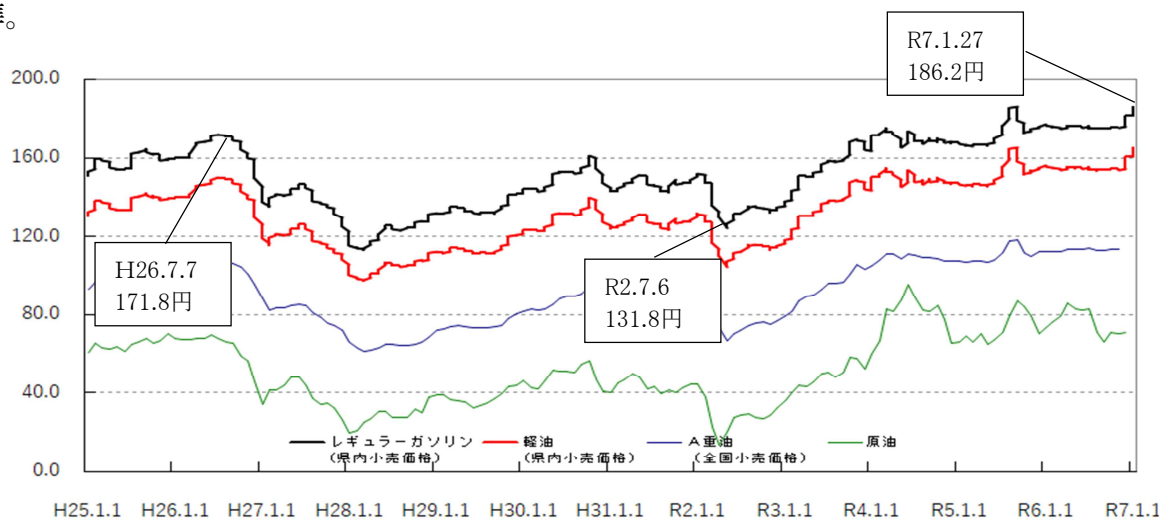
業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>11月の県内楽器メーカーの販売金額は、55億7,123万円（前年同月比0.4%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが31億6,063万円（同13.3%減）で、3か月連続で前年実績を下回り、国内向けが24億1,060万円（同23.9%増）で、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>ピアノ生産台数は1,937台（同35.5%減）で、17か月連続で前年実績を下回った。機種別では、アップライトピアノが1,064台（同41.1%減）、グランドピアノが873台（同27.2%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが1,287台（同40.3%減）で、17か月連続で前年実績を下回り、国内向けが1,061台（同15.1%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>11月の紙・板紙の国内出荷高は、1,719千ト（前年同月比1.8%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。内訳は、紙は786千ト（同2.0%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。板紙は933千ト（同1.7%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、403千ト（同2.6%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。ティシュペーパー、トイレトペーパー等の家庭紙は、161千ト（同1.2%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>11月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,031千箱（前年同月比0.8%増）で3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は756千箱（同4.5%増）で3か月連続で前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶は471千箱（同2.6%増）で、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は275千箱（同8.2%減）で2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが6,839千箱（同2.7%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>＜資料＞静岡缶詰協会</p>
織 維	<p>11月の広幅織物の県内生産は、975千㎡（前年同月比7.0%減）で、3か月ぶりに前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、941千㎡（同6.5%減）で、3か月ぶりに前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、34千㎡（同19.3%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、17千㎡（同6.8%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>11月の全国百貨店での家具販売額は、41億2,794万円（前年同月比2.5%減）と2か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、718億8,784万円（同8.3%増）と2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>11月の県内百貨店・スーパーの販売額は、38,829百万円（既存店前年同月比2.9%増）と前年同月の実績を上回った。品目別に見ると、衣料品及び身の回り品が前年同月の実績を下回ったものの、飲食料品及び家庭用品が前年同月の実績を上回った。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げが減少した。家庭用品及び雑貨（化粧品、美術・宝飾・貴金属等）の売上げが好調だった一方で、衣料品、身の回り品及び食料品の売上げが不調だった。</p> <p>東部の専門店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。食料品、衣料品、家電製品及び化粧品の売上げが好調だった。11月に入り気温が低下したことにより、特に秋物の衣料品の売上げが好調だった。</p> <p>中部の食品スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して来客数は同程度であったが、販売価格の上昇により売上げが増加した。特に、青果及び弁当・惣菜について売上げが好調で、カット野菜の売行きが良かった。</p> <p>（資料）関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>令和6年11月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約40万人で、前年同月比12.5%減となった。</p> <p>11月は、昨年度入込が多かった大河ドラマ関連施設の入込が減少したほか、一部の屋外施設では紅葉の色づきが遅かった影響で入込が減少した。</p> <p>主要有料道路（4路線）の合計通行車両数は、約63万台となり、前年同月比1.1%増となった。</p> <p>＜資料＞静岡県観光政策課</p>

＜原油高の状況について＞

新型コロナウイルス感染症からの経済活動再開に伴う需要増大や、海外情勢の不安定化などにより原油価格が上昇。

足もとの県内ガソリン等小売価格は、レギュラー186.2円/Lと、平成20年8月以来の高水準。



出典：石油情報センター

IV データからみた県内主要産業

<二輪車>

	R 6年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
完成車生産台数(台)	24,963	25,290	21,653	22,084	23,027	19,633	23,502	27,598	29,175
前年同月比(%)	▲ 9.4	9.9	▲ 7.2	▲ 23.5	40.3	5.0	25.7	▲ 4.3	0.1
KD輸出額(百万円)	1,159	1,103	655	716	947	717	604	733	672
前年同月比(%)	▲ 30.3	▲ 36.9	▲ 45.8	▲ 9.2	▲ 29.9	▲ 17.9	▲ 30.9	▲ 44.5	▲ 53.4

<楽 器>

	R 6年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
生産総額(百万円)	3,573	3,468	3,503	3,339	3,619	2,621	2,960	3,404	3,091
前年同月比(%)	1.3	6.1	1.9	▲ 16.8	▲ 3.2	▲ 10.2	▲ 15.1	▲ 5.8	▲ 11.9

<缶 詰>

	R 6年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
食缶生産高(千ケース)	880	932	925	969	1,047	869	965	1,056	1,031
前年同月比(%)	▲ 14.0	▲ 7.5	1.0	▲ 3.3	2.6	▲ 8.9	0.3	12.4	0.8
うち水産缶詰(%)	▲ 6.3	▲ 3.5	0.7	▲ 1.9	7.2	▲ 0.7	8.0	15.9	4.5
農畜産缶詰(%)	▲ 30.1	▲ 17.7	1.7	0.4	▲ 10.0	▲ 27.0	▲ 17.3	3.9	▲ 8.2
飲料缶生産高(千ケース)	7,231	6,743	7,363	7,220	7,596	7,061	6,447	6,801	6,839
前年同月比(%)	▲ 3.2	▲ 14.0	▲ 4.1	▲ 3.7	3.3	▲ 0.4	▲ 9.9	2.8	▲ 2.7

<織 維>

	R 6年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
広幅織物(千㎡)	928	905	751	717	659	616	815	892	975
前年同月比(%)	31.2	33.9	16.6	3.5	▲ 2.4	▲ 9.1	1.8	2.9	▲ 7.0
小幅織物(千㎡)	18	17	16	18	18	16	17	16	17
前年同月比(%)	▲ 1.1	▲ 9.4	▲ 16.9	▲ 6.4	▲ 5.7	7.4	▲ 5.7	▲ 9.9	▲ 6.8

<観 光>

	R 6年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
延べ宿泊者数 (千人泊)	2,091	1,720	1,776	1,500	2,049	2,538	1,752	1,816	1,936
前年同月比(%)	9.3	4.4	▲ 2.7	4.5	6.6	▲ 3.0	▲ 2.1	4.2	2.0
観光施設(10施設)入込 (千人)	361	634	783	293	297	389	312	415	401
前年同月比(%)	▲ 29.8	37.2	44.2	▲ 7.2	▲ 14.3	▲ 11.4	▲ 17.0	▲ 11.8	▲ 12.5
611	645	661	698	583	626	687	594	611	628
前年同月比(%)	0.2	17.9	14.8	11.4	0.1	▲ 1.0	1.7	1.0	1.1

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告

令和7年1月号 通巻585号

発行 静岡県経済産業部
令和7年1月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1002123/index.html>